

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

千葉県 千葉市立花見川中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

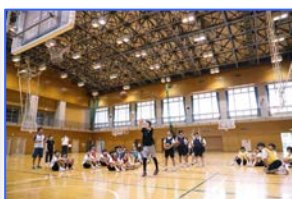
まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です
※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年12月16日 (月)

■ク ラ ス : 2年1組 (32名) 、2年4組 (30名)

■オリンピアン : 加藤 友里恵 先生 (トライアスロン) 【出場オリンピック/リオデジャネイロ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



・今日は加藤先生がオリンピックで経験したことを踏まえて、3つのオリンピックバリュー「エクセレンス・フレンドシップ・リスペクト」について伝えると授業の目的を確認し、運動の時間には「一生懸命頑張ること」「協力し合うこと」「ルールを守ること」の3つを意識して取り組んでほしいと伝える。
・準備体操として、ストレッチとトライアスロンのトランジット体験を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



・トライアスロンリレーを4チームに分かれて全3回実施。各チームタイムを縮めるための作戦を話し合う。

4. まとめ



・協力する気持ちを持って、一緒に努力し、ルールを守りながら記録をどんどん更新できていたように、短いリレーの中でもオリンピックバリューを実践できていたと伝える。座学の時間は、運動の時間のことを振り返りながら、オリンピックバリューについてさらに深く追求していきたいと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・リオデジャネイロ大会の映像を見せながらトライアスロン競技を紹介。
- ・加藤先生の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、一生懸命頑張る」、「フレンドシップ＝友情、協力、思いやり」、「リスペクト＝敬意/尊重、ルールを守る」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：運動の時間を振り返って意識したことなどをオリンピックバリューに当てはめてみよう。
- 発表：「円陣を組んでやる気を出した」「全員が好タイムを出せるように取り組んだ」「最後まで諦めずに一生懸命できた」(エクセレンス)
 「失敗したところを皆でフォローした」「全員で協力した」「話し合って協力することができた」(フレンドシップ)
 「丁寧にルールを守って取り組めた」「ルール内で計画や工夫ができた」「他のチームの良い所を真似した」(リスペクト)

4. まとめ



- ・オリンピックバリューはオリンピック人だけが感じられる価値ではなく、皆も日常生活のあらゆる場面で感じることができ、オリンピックバリューを心の中に留めておくことで、夢に近づくことができるので、学校生活の中でも、人生の中でも意識してほしいと伝える。加藤先生は東京2020大会出場を目指して努力しているので、先生も皆の夢や目標を応援するので、先生のことにも応援してほしいと伝え、授業終了。

実施内容

■期 日 : 2019年12月17日 (火)

■ク ラ ス : 2年2組 (31名)、2年3組 (30名)

■オリンピアン : 高橋 成美 先生 (スケート/フィギュアスケート) 【出場オリンピック/ソチ大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・運動の時間の約束事として「全力を尽くす、自分を越えること(エクセレンス)」「仲間と協力すること、チームワーク(フレンドシップ)」「ルールを守ること、感謝すること、尊重すること(リスペクト)」を意識して取り組んでほしいと伝える。
- ・準備体操として、ストレッチとタッチ鬼を実施。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳びを2班ずつ3チームに分かれて実施。1回目は90秒、2回目は120秒で行い、引っかけたも続きから数え、2回の合計回数を競う。各チームの回数を増やすための作戦を話し合う。

4. まとめ



- ・運動の時間では、冒頭の約束を実践できていたと話し、座学の授業ではオリンピックやオリンピックバリューについて詳しく学ぼうと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・座学の時間ではオリンピックバリューについて一緒に考えようと授業の目的を確認。フィギュアスケートの靴を見せながら競技紹介。
- ・高橋先生にとってのオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くす、全力で取り組む、自分を超越、諦めない」、「フレンドシップ＝友情、お互いを理解する、思いやり、チームワーク」、「リスペクト＝敬意/尊重、感謝、ルールを守る」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：運動の時間を振り返って取り組んだこと、意識したことを書き出し、オリンピックバリューに当てはめてみよう。
- 発表：「全力で跳んだ」「最後まで諦めずにベストを尽くせた」「全力で取り組んだ」「作戦を皆で考えてベストを尽くし勝てた」(エクセレンス)
 「声を出してチームワークを高めた」「作戦を立てて協力できた」「声を掛け合い雰囲気を良くした」「友達を信じる」(フレンドシップ)
 「ルールを守って仲間を尊重した」「皆の意見を尊重した」「回数を正確に教えて不正をしなかった」(リスペクト)

4. まとめ



- ・これから先何かを判断しなければならなくなった時、感性だけで動いても正しく動けるとは限らないが、オリンピックバリューを意識して取り組んでいると、いざという時にとっさに正しい判断ができるようになるので、日常生活の中でオリンピックバリューを少しずつ積み重ねてほしいと伝える。、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



2年4組



■ 記念品贈呈

2年1組



2年2組



2年3組



2年4組



■ 修了書贈呈

